

第35回坂東市将門ハーフマラソン大会趣意書

坂東市将門ハーフマラソン大会の生い立ちは、昭和48年（1973年）1月に利根渡良瀬サイクリングコースを会場として、体力の維持増進スポーツの振興を目的に開催した第1回「市民マラソン大会」を起源としています。その後、昭和58年（1983年）11月にコースを市街地に移すと同時に名称を「将門マラソン大会」と変更し開催してまいりました。商店街の皆様をはじめ関係機関・団体・市民の方々の温かいご理解とご協力を賜りまして、回を重ねるごとに内容も充実し、内外における評価も一段と高まってまいりましたことは、関係者一同大きな喜びとするところです。平成3年（1991年）から「いわい将門ハーフマラソン大会」に移行してからは、全国から有名選手や外国人選手を多数迎えております。また「地域ボランティアの方々への感謝」「沿道での声援の有難さ」「大会運営の素晴らしさ」など、大勢の選手の皆さんから感激の声が届いております。令和2年（2020年）から「坂東市将門ハーフマラソン大会」に名称変更してからはコロナ禍により2年間開催できず、令和4年（2022年）コロナ禍の中ではありましたが、3年ぶりに無事開催することができました。昨年は坂東市として合併20周年を迎えることができ、記念事業としての開催となりました。これもひとえに協賛各社、関係機関・協力団体、また市民の方々の暖かいご理解とご協力ご支援によるものと、深く感謝申し上げます。

さて、「坂東市将門ハーフマラソン大会」は35回目を迎え、節目の大会として令和7年11月9日（日）に開催する運びとなりました。大会の開催にあたりましては、参加選手の安全確保や競技進行上の体制整備に万全を期して臨むほか、坂東市のPR、イメージアップに力を入れ、大会の成功に向けて最善の努力をしておりますので、皆様方の特段のご高配、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月吉日

坂東市将門ハーフマラソン大会

会 長・坂東市長 木 村 敏 文

実 行 委 員 長 荻 井 公 夫